

平成 25 年度第 1 回 富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
(概要)

日 時 平成 25 年 4 月 11 日 (木) 10:00～11:30

場 所 県民会館 302 号室

議 事 (1) 平成 25 年度富山県中小企業振興施策等について
(2) 平成 25 年度国中小企業振興施策等について
(3) その他

委員からの主な意見

・金融円滑化法が 3 月末で終了したが、金融機関の相談窓口は引き続き開いている。金融機関としては、今ある企業に継続して頑張ってもらいたい。引き続き各銀行が力を合せて経営改善支援に力を入れていきたい。

・国内の需要については、官の需要が短期的に重要になってくると思う。デフレ下で、労働の対価が非常に低くなってきているため、発注先は、企業の雇用のあり方などもしっかり見ていただいたうえで、決めていただきたい。

・国でも小規模企業に目を向ける動きになっているので、県の条例を具体的に進めていくなかで、小規模企業の振興にも力を入れていってほしい。

・OffJT には教育補助金が出ていて、すごくいいと思うが、OJT の教育について、もう少し申請しやすくしてほしい。

・地域の産物、サービスを積極的に受け入れようという意識づくりを啓発していくことが大事だと思う。

・大学では、これから少子化が進み学生数が減るという状況が考えられ、またいろいろな形での課題が突き付けられている。全県、あるいは地域としてどのように人材を育成するかということを課題にしていきたい。

・少子高齢化の中で大事になってくるのは人材育成だと思う。大学教育の中で地域の産業界の教育力を活用したり、逆に、大学側も地域の方に対して、教育の役に立ちたい。そういう双方向的な役割、作業が必要になってくると思っている。

・インターンシップの位置づけを明確にし、積極的に学生を受け入れてほしい。

・2年後の新幹線開業は産業立地を大きく変えるし、富山県は、水資源にも恵まれている。人材面でも優秀で勤勉な労働力がたくさんある。この辺に目を留め、産業誘致と中小企業が安心して残れるような施策をお願いしたい。

・金融円滑化法終了により、不安視している方が多い。金融機関としては、引き続き中小企業を支援していこうと考えている。

・本県の就職内定率が、高いのは県内企業の方々が積極的に採用していただいているからだと思う。キャリア教育についても中学生の「14歳の挑戦」、高校生のインターンシップで県内企業の方に支えていただいている。

・高校生の教育内容で、富山県のものづくり、あるいは交通の優位性を取り上げている。富山県の将来に可能性を感じて富山県で頑張ってみよう、Uターン、Jターンでもう一度戻ってこようなどという生徒が増えている。

・少しでも優れた技術、創意工夫を持って日本の産業に携わるような人材を育成するのは非常に大切なことだと思う。

・女性の雇用を本人も企業も望んでいても、両親の面倒を見る必要が生じるなどし、働けないということをよく聞く。福祉の分野も加味して女性が安心して働ける環境になればよいと思う。

・小規模企業も含めて中小企業のこれからの人材確保をどのようにやっていくか考える必要がある。

・中小企業金融円滑化法の終了に伴い、中小企業支援ネットワークなどを積極的に活用し、中小企業の資金需要に応えてまいりたい。